

かつたっ子授業のスタンダード

①問題提示 ■解決すべき問題を知る。→提示の工夫

②問いをもつ ■疑問をもたせる →疑問点の明確化

授業の流れ
を提示する

③めあて(課題)の共有

- 「この授業で何が分かればいいのか」「何を理解するか」ゴールを確認する。
- 「めあて」は、黒板の左上(右)に口で囲み、簡潔なことばで分かりやすく板書。

④自分で考え表現する(自力解決)時間の確保

■「教師が教える場面」

○明解な説明を！

- ・ICT 機器の活用や具体物の準備で、合理的な配慮を！
- ・端的で明快な説明をする。

○構造的な板書を！

- ・授業後に板書を見て、その授業のポイントがつかめるようになっているか。

■「生徒が考え表現する場面」：教師は児童生徒の発言をつなぐ。

○「今、何をするのか」「何を考えるのか」を明確に指示。

○考える道筋や表現する手立てを明示する。

○活動サイクル

- ・「個→ペア・グループ→全体→個」個で考える場面に戻ること意識して。

*教える場面と考えさせる場面を
明確に区別する。

・活動内容や
活動時間を
明示する。

⑤集団解決 → 達成度の確認

- 「この授業で何が分かったか」「どこまで、理解できているか」を確認する。
- 一人一人の達成状況の確認を元に、個に応じた支援や指導を行う。

⑥まとめ(価値の共有)

- 「まとめ」をきちんと板書する。
- ノート指導の徹底→予め、各教科のノートの取り方で説明をしておく。

⑦振り返り

- 個々の生徒に本時の振り返りをさせる。→文章でまとめる習慣をつける。

☆自分の考えをまとめて書く、発表する活動を取り入れよう！

☆授業にユニバーサルデザインの視点を取り入れよう！

〈3つの視点：視覚化・焦点化・共有化〉